

☆☆☆朝礼講話☆☆☆

9月26日(月)

『気づくこと』

講話 1年担任 菅原 真希



十四山東部小の運動場に、ボールが落ちていました。それを見て、どう思いましたか? 「ぼくのクラスのじゃない」「そのままにしておこう」「放っておく」「知らないふり」「知らなかった」

いろいろありそうですね。

十四山東部小学校の運動場に、草が生えています。廊下や教室にゴミが落ちています。「すぐに拾う」「そうじの担当じゃないからそのまま」「草は草取りデーまでおいておけばいい」「知らなかった」「どうしてこんなところに草が生えているんだろう」「ずっと前からあったと思う」「じゃまになるわけじゃないからいいや」「ぼくがすてたんじゃない」「なんとも思わない」

一番残念なのは、「何もしなかった」ではなく『知らなかった』です。

一番大切なのは、『気づくこと』だと思います。

「ろうかにゴミが落ちている」、「友達が困っている」、「トイレトペーパーがもう少しでなくなる」、「もうすぐ約束の時間になる」、「靴がそろっていない」、「きのうここになかったものが、今日はここにある」、「今、自分はきまりを守っていない」などです。また、学習での間違いに気づく・忘れ物をしてきたことに気づくことなどいろいろあります。気づいてもすぐに行動できないこともあるでしょう。勇気のいることですから仕方ありません。

学校生活の中で、良いことも悪いことも『気づくこと』で、今よりもっと良くなることがたくさんあります。

思いやりのある行動をする……人の様子に気づかないとできないと思います。

時間を守る……時計や周囲の様子に気づかないとできないと思います。

学校をより良くする……学校をよく見ないと、違いに気づかないと思います。

みんなに「こうしよう」と大きな声で呼びかける前に、まず自分で『気づくこと』を心がけてみてください。『気づくこと』ができれば、次に『行動すること』につながるはずです。今よりきっと良くなるはずです。

十四山東部小学校は、みなさんの母校です。学校を大切に、より良い学校にしてください。



避難訓練

天候不順で延期になっていた避難訓練を、27日(火)に行いました。今回は、大きな地震が発生した場合に実際に生じる可能性の高い状況を想定し、それに対処できるよう実施しました。



まず一次避難としてのシェイクアウトです。緊急地震速報が流れるとどの学年も素早く机の下にもぐり、身の安全を確保することができました。しばらくしてから、停電を想定して運動場からハンドマイクで二次避難の指示が出されました。ここで、今年は市からライフジャケットが支給されたので、廊下で着用してから運動場へ移動しました。校舎から外に出る際には、割れた窓ガラスが2階から降ってくる危険があるので、それを発泡スチロールを落とすことで体感しながら安全を確かめて避難する練習を行いました。また、運動場では、液状化の発生場所を白線で示し、それを避けながら集合場所に移動しました。運動場での人員確認後は、津波からの避難として十四山支所へ移動し、すべての訓練を終えました。今回も話し声はほとんどなく、みな真剣に避難訓練に取り組むことができました。

東海地震がもうすぐ発生するといわれてから30年ほどたっています。避難訓練は、何回も延期になりましたが、実際の地震が延期というわけにはいきません。実際に東海地震、東南海地震が発生しても、今日のように落ち着いて確実に身の安全を図り、冷静に避難できるよう、各家庭においても準備をお願いします。

